



君は知ってる？とりのトリビア 中里郷土の森で「企画展おもしろい練馬のトリ！」を開催！

と き 令和7年3月3日（月）まで

と ころ 区立中里郷土の森緑地（大泉町1-51-2）

区立中里郷土の森では、3月3日まで、企画展「おもしろい練馬のトリ！」を開催しています。

今年のテーマは「練馬区に生息している鳥の生態や特徴の面白さ」。「実はシジュウカラは言語をしゃべっている！？」など、身近な鳥のトリビアを通して、身近な鳥を好きになれる企画展となっています。

参加型企画「練馬のとりカード！」では、見つけた野鳥のカードをもらうことができ、たくさん集めると景品がもらえます。さらに、今年はランダムのごちゃごちゃ景品もご用意しています。

バードウォッチングが初めてでも安心して参加できるように、双眼鏡の練習ミッションや無料の双眼鏡貸出し、自然解説員の常駐など、来園者のサポートもしています。

区内にも多種多様な野鳥が生息しています。ぜひこの冬は親子でバードウォッチングにチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。



▲ポスター

【企画展概要】

日 時：令和7年3月3日(月)まで 午前9時～午後4時30分
(3月1日～3月3日は午前9時～午後5時まで)

休園日：火曜日、12月29日～1月3日

料 金：無料

内 容： ①思わず誰かに言いたくなる知識が満載の「鳥のトリビア」ブース。②双眼鏡の使い方を練習し、鳴き声クイズで鳥を探す力をつける「鳥のを見つけ方」ブース。③区内の野鳥観察マップなどで、様々な環境での野鳥観察をサポートする「色んな鳥と出会おう」ブース。



▲とりカード

これらの3つの展示を通して、野鳥観察のコツや知識などを、楽しみながら学ぶことができます。

他にも、野外に隠されたパネルクイズ、未就学児用の双眼鏡作り、近隣の緑地に解説員と出掛ける「とり見たんけん」など、幅広い年齢のお子様楽しく遊んで学べる仕掛けがたくさんあります。



▲昨年度の「とり見たんけん」の様子

【区立中里郷土の森について】

100年以上前からある貴重な屋敷林を活かした緑地で、練馬のみどりや生き物と直接触れ合いながら学べる体験型施設として平成29年3月25日に開園しました。

園内の「森の学習棟」では、常駐の自然解説員とともに、練馬の自然や生きものを楽しく学べる自然体験プログラムを実施しています。



▲森の学習棟

【問い合わせ】練馬区 みどり推進課 施設係 電話03-5984-1664